

令和7年度事業計画について

令和7年度 事業計画書 (2025年4月1日～2026年3月31日)

〔総則〕

2025年は団塊の世代が75歳以上となり、後期高齢者の数のピークを迎えるこの先の20年間は、介護費用の増大、担い手不足が最大の課題である。

2040年には、65歳以上の高齢化率は34.8%となり、地域ごとに見るとほぼ全ての地域で生産年齢人口が減少し、都市部では高齢人口が増加、過疎地域では高齢人口は減少する。

宮崎県においては、宮崎市、都城市など一部の地域を除き、既に全ての地域の65歳以上人口がピークを迎えており、人口減少によるサービス需要の減少を見込んだ介護サービス運営を求められる。

その様な社会情勢の中、今後も老健施設は、地域包括ケアシステムの構築に欠かすことのできない重要な社会資源であり、また、医療と介護の連携を図る重要な担い手として、要介護度や医療ニーズが高い者への対応・看取り対応・認知症対応等の様々な課題に対応するため、老健本来の在宅復帰機能・在宅生活支援機能・リハビリテーション機能等を常に向上させていくことが必要とされている。

これらの役割を果たしていくため、研修会開催や調査研究等を行ない、より公益性を重視した活動を通じ、サービスの質向上を図っていく事とする。

人材の確保に対しては、増々厳しくなる状況を鑑み、処遇改善加算を原資とした賃金改善と生産性向上の取組とICTの活用が求められる。厚生労働省はじめ、各種団体が発信する運営に資する情報の発信・共有を積極的に行う。

以上を達成するため、次に掲げる諸事業を多角的に実施していく。

1. 会議

(1) 社員総会

- ① 定時社員総会は、定款第14条第1項の規定に基づき、年1回開催する。開催の時期は、6月とする。
- ② 臨時社員総会は、定款第14条第2項の規定に基づき、必要に応じて開催する。

(2) 理事会

- ① 定例理事会は、定款第36条第2項の規定に基づき、年2回以上開催する。開催の時期及び回数は、5月に1回、3月に1回とする。
- ② 臨時理事会は、定款第36条第3項の規定に基づき、必要に応じて開催する。

(3) 常設委員会及び特別委員会

1. 各委員会は、必要に応じ開催し、事業実施上の諸問題、懸案事項等について検討する。

2. 第24回 宮崎県老健大会

開催地	宮崎県宮崎市
実施時期	2026年2月 予定
大会会長	本協会会長
対象者	老健に勤務する職員等、宮崎県民（公開講座）
会場	JA AZMホール
内容	基調講演・市民公開講座・その他講習セミナー・演題発表
参加予定人員	150人
後援予定	宮崎県等（予定）

3. 教育事業

老健施設におけるサービスの質の維持・向上をはかり利用者及びその家族に良質なサービスを提供することを目的として、専門性の向上・スタッフのスキルアップ、そして施設の安定経営等に資する情報提供を含めた各種研修事業等を以下のとおり実施する。

【リハビリテーション研究部会】

研修事業

研修会：年1回の開催。開催時期未定（テーマ・講師未定）

定例会議：5月、8月、2月

【栄養・給食研究部会】

研修事業

研修会：10月～11月予定。年1回開催（テーマ・講師未定）

定例会議：5月、8月、11月予定

【看護・介護研究部会】

宮崎県内施設見学

内容：生産性向上の取組、ICT・介護ロボット導入好事例、人材確保の取組、
感染対策、レクリエーション、地域貢献活動等。

定例会議：4月、11月、1月

【高齢者ケアプラン研究部会】

研修事業

研修会：11月開催（テーマ：ケアマネジメントに関する研修会 講師未定）

定例会議：5月、10月、1月予定

【在宅・支援相談研究部会】

研修事業

研修会：（テーマ：在宅支援、支援相談に関連するWeb研修 講師未定）

定例会議：6月、8月、11月、1月予定

4. 調査研究事業

介護老人保健施設の管理運営の適正化及びサービスの質の確保・向上に関する調査研究

【看護・介護研究部会】

県内における生産性向上の取組みについて好事例の調査

5. 広報事業

【広報部会】

広報誌「老健みやざき」発行、年1回定期刊行

本協会の活動報告や最新情報を迅速に提供し、広く県民に向けて老健施設や本協会に関する広報を行う。

また、会員施設職員向けに外部研修情報等を集約し、職員の育成に資する情報発信に努める。

今期は新たに、MRTラジオにて情報発信番組の企画を行う。

【番組名】（仮）介護施設が支える、明日が楽しくなる介護時間。

放送時間：毎週土曜日 6：00- 8：00 の中で 30 分（収録放送）

番組の目的：高齢者福祉に関する知識や情報を広く発信し、介護サービスへの理解と利用促進を図ることを目指す。

主なテーマ：

① 認知症ケア

- 認知症の早期発見や日常の接し方、最新の支援技術やサービスを紹介する。
- 専門家や介護経験者のインタビューを交えて、具体的な取り組みを伝える。

② 人生会議（ACP: Advance Care Planning）

- 自身や家族の人生の最終段階について話し合う重要性を解説する。
- 専門家からのアドバイスや、実際に人生会議を行った家族の声を紹介する。

③ 介護日常小話、その他

- 介護の現場で起きた心温まるエピソードや、介護者の苦勞と工夫を共有する。
- リスナーから寄せられたエピソードを読み上げる。

期待される効果

- 高齢者福祉に関する知識の普及。
- 認知症や人生会議への理解が深まり、地域全体での介護支援が活性化する。
- 聴衆とスタッフ間での情報共有や交流促進を図る。
- 研修会や市民公開講座、求人情報など独自で発信可能
- 求人の問い合わせは協会 HP から、各施設への HP リンクに誘導する。

※施設職員の欠員により、各分科会の活動が縮小している。それに伴い、研修会参加者が減少し、研修で使用する事業費用額も減少している。よって広報活動にかける事業費用額を増加する予算

案とした。また一部老サ協とコラボレーションを行い共同して介護の魅力発信を行う予定。

6. 常設委員会事業

(1) 総務委員会

事業計画案・予算案の検討、関係各方面に対する折衝及び要望活動等を積極的に展開し要望事項の実現をめざす。

(2) 事務長会

老人保健施設の管理運営面等における諸問題について、情報共有を図り安定経営に結びつけると共に事務担当者の育成に努める。

(3) 学術委員会

老健施設及びそこに働く各職種の質の向上と技術向上に寄与するべく、関連する各領域の調査・研究を会員施設の協力を得て実施する。

7. 受託事業

なし